

令和8年度 町政執行方針



3月5日から開催された第1回町議会定例会において、萬谷町長が令和8年度の町政執行方針と予算編成概要を述べましたので、お知らせします。

令和8年第1回町議会定例会の開会にあたり、私の町政執行に対する基本姿勢および考え方、ならびに令和8年度予算概要について申し上げます。

私は、昨年10月の八雲町長選挙において、多くの町民の皆さまから温かいご支援とご厚情を賜り、八雲町の責任ある舵取りを任されました。

皆さまから寄せられた大きな期待を胸に刻み、私の基本姿勢である『町民主役のまちづくり』のため、町民の声に真摯に耳を傾け、信頼関係を構築して議論を重ね、説明責任を尽くして、誰もが安心して住み続けられる八雲町を目指し、全力をあげて取り組んでいく覚悟でございます。

私は、町長選挙を通じて町民の皆さまに訴えた政策の1つ目は『産業基盤の強化で元気なまち』です。基幹産業である農林水産業は八雲町を支える根幹であり、その生産基盤の強化と経営の安定化に向

けて取り組むとともに、後継者の育成に資する施策を展開し、活気ある持続可能な産業をもつまちを目指します。

また、商工業においては、生産性向上や起業・創業・事業承継に伴う設備導入の支援を行うとともに、商工会等と連携して事業承継に向けた取組を推進してまいります。

これまで進めてきた醸造用ぶどうの栽培は、本格的な栽培へと発展し、今後、事業計画、基本構想を策定してワイナリー開設に向け取り組みます。

また、地域ブランド力や観光物産の魅力向上が見込まれるウイスキー蒸留所誘致事業については、出資各社と連携し、建設、稼働へ繋げてまいります。

サーモン海面養殖は、楡山管内をはじめ、日本海沿岸漁業へ波及していることから、種苗生産施設の整備拡充によって、年間29万尾の供給体制を目指します。

これら3つの事業については、民設民営により事業を推進してまいります。

2つ目は『安心して子育てできるまち』です。子どもの医療費助成や給食費の無償化など、従来の子育て支援策を継続するとともに、令和8年度においては、出産に伴う経済的負担の軽減を目的とした祝い金の給付や安定した保育サービスの提供のため、保育士の町内保育所等への就労促進を図る支援策などを実施するほか、引き続き、結婚・出産・子育ての各ステージに合わせた施策を検討し、若い世代が安心して子育てができ、住みやすいまちを目指してまいります。

3つ目は『誰もが安心・安全に暮らせるまち』です。買い物や通院など日常生活における移動手段の確保に対して多くの声が寄せられており、喫緊の課題です。

令和8年度においては、デマンド型乗合タクシーの実証運行を予定しており、その検証結果をもとに実現に向けた取組を進めてまいります。

ここ数年、地震やそれに伴う津波の発生、記録的短時間豪雨による浸水などにより、全国的に災害対策、防災に対

する意識が高まっています。自助・共助・公助の役割を浸透させ、地域防災リーダーを育成するための支援などを行い、地域防災力の向上を目指します。

ふるさと応援寄附金奨励事業は、町内事業者のご協力をいただき、全国に向けPRを行っておりますが、令和7年度においては主要返礼品の原材料確保等が困難であったことから、令和6年度を大きく下回る結果となりました。

寄附金増に向けた様々な取組を進めつつ、厳しい財政状況の下、安定的な行財政運営に努めてまいります。

公立病院の経営は大変厳しい状況にあります。2次医療圏域の人口が急速に減少している中、八雲総合病院と熊石国民健康保険病院の今後の医療提供体制と経営安定化について議論を進めてまいります。

役場新庁舎等建設事業は、2度にわたる建築主体の入札不調を受け、現設計どおり進めるか、シンプルで将来のラウンディングコストを抑える庁舎とすべきかなどについて、町民説明会を開催し意見を聴かせていただきました。これまで費やした設計費等